

令和5年12月27日（水曜日）

高校生と姫路市議会との座談会（建設）

議会会議室

出席議員

大西陽介、重田一政、川島淳良、阿山正人、
八木隆次郎、高見千咲、東影 昭、神頭敬介

出席高校生

姫路工業高等学校 4人、淳心学院高等学校 6人

開会 9時55分

委員長挨拶 9時56分

出席者紹介 9時58分

意見交換 10時00分

○個別テーマ

・空き家対策

「空き家を活用したい！さてどうする？」

（高校生）

私たちが話し合った空き家対策は4つある。

1つ目は空き家の多い場所を都市開発し、その土地の利便性を高めることで人が増えると思う。空き家を安く売り出すことで、空き家に住む人が増えるのではないかな。

2つ目はカルチャースクールに活用することで、日本家屋の勉強などに使えるのではないかな。

3つ目は空き家の近くに人が集まる施設をすることである。例えば、空き家の庭を近隣の人が共有して家庭菜園の場に使うのはどうか。空き家は犯罪の温床になる場所でもあるので、そこに人が近づくことで犯罪の温床になることを防げるのではないかな。

最後に、空き家を大学が所有して授業の場に使うのはどうか。建築系の大学であれば、実際に空き家を使って、授業などに使えるのではないかな。

（高校生）

空き家を改築してホームレスの方々が生活できるようにするのはどうか。また、地域の共同スペースとして活用するのはどうか。空き家は犯罪の温床となることが多く、治安の悪化につながるため、地域のコミュニティスペースとして利用することにより、治安が良くなると思う。

（高校生）

空き家を市営住宅として、家族に貸し出すのはどうか。姫路市の市営住宅は単身世帯向けの物件は多いが、

扶養者のいる世代に貸し出せる広い物件が少ない。戸建てである古民家を改修して、市営住宅として貸し出すことで、人口増加につながるのではないかな。

（高校生）

私の地元でもそうだが、最近はおじいちゃんやおばあちゃんが多く、高齢化社会を表している。その中で若者と高齢者が一緒に居住する住み込み型の介護の空き家を活用すればいいのではないかな。現在、介護の人手不足が言われている中で、その地域の若者と、高齢者が一緒にいることで何かできるのではないかな。

（委員長）

福島県北塩原村では、空き家を村が借り上げて貸し出すことで移住を促している。姫路市でできるかどうか分からないが、実例としてある。

（高校生）

全国的に人口が減少している中で人口が増加している明石市と印西市を調べてみた。

この両市をお手本にすることで人口が増加し、空き家対策につながるのではないかな。明石市に住む私の祖母は3年前に脳梗塞になったことで、買い物に特に困っている。最近ではAmazonやネットスーパーなどもあり生活は便利になったが、祖母を見ていると明らかに取り残された世代だと思う。市が運行しているコミュニティバスなどもあるが、バス停までが遠く利用するには至っていない。そのような中、コープが始めた乗り合いタクシーが非常に利用しやすいと言っていた。子育て世代が将来の自分に安心感を持てるまちづくりが人口増加に、そしてその先の空き家対策につながるのではないかな。

（議員）

建築系の授業に使うという提案がおもしろいと思う。仮に授業で使うのであればどのように使いたいか。

（高校生）

私の地元では空き家を食堂やカフェに改修しているが、その改修方法を教える場として建築系の学校が使用することで、作り直すことができるのではないかなと思う。

（議員）

私の地元も、空き家が大変多くなっている。また、空き家だけでなく、大きな商店街もほぼ閉まっていたが、若い世代が空き店舗を買ったり改修したりして喫

茶店や事務所として使っている。また、空き家には当たらないが、かつて網干銀行だった古い建物をある人が買い取って、そこを活用してレストランを営んでいるので、ある部分では空き家活用が進んでいる地域だと思う。

(議員)

私の地域は、新しい家が建つ一方で古い家も残っている。人口は減少しているのに、今後も空き家が増加することを懸念している。

空き家が多い地域を開発して、魅力ある土地にするという提案があったが、地域全体を見たら空き家がポツポツとスポンジ状に存在している。一つにまとめられると開発しやすいが、個人の持ち物なので非常に難しいと思う。

(議員)

町なかにある空き家と田舎にある空き家では状況が異なっている。私の地元では、空き家を売りたいと思っても大きな仏壇を置いている方が多い。姫路市は空き家を活用する場合、空き家バンクに登録することで補助金がもらえる制度を設けているが、現状はそれが生かされていない。

山之内地区では香寺にあるハーブ園が廃校を利用して、ハーブの研究をしたり、レストランを営んでいる。また、神戸大学医学部が空き家を使って活動している。このような取組が増えていけば活性化していくのではないかと。期間限定でいいので、若い方に住んでもらって、その土地の良さを知ってもらうことが大切だと思う。

(議員)

我々市議会議員としては、老朽危険空き家が崩れることで近隣に迷惑がかかることへの対策を考えがちだが、皆さんは我々と違って、空き家の活用を考えているので非常に前向きだと思った。

大阪府大東市では「morinekiproject」を行っている。老朽化した市営住宅を再開発し、木造の低層共同住宅や、北欧のライフスタイルをテーマにした飲食店や芝生公園の整備を公民連携(民間の資金を活用して行うPPP)で実施している。住宅エリア、公園エリア、民間事業エリアがあり、手づくりの工房やワークショップ等が入っている。これから人口が減少すると、市営住宅も空き家が出てくるので、

民間の資金を活用することで、さきほど子育て世代向けや住み込み型介護の提案があったが、三世帯居住できるスペースをつくることによって、若い人たちを呼び込む形になるのではないかと。

私も頭の中で構想しているので、ぜひ皆さんのような若い方々が、我々にそういった発想を与えていただきたい。

(議員)

私の地域には850世帯ほどの人が住んでおり、人口ピラミッドとしては良い形の地域であるが、見渡せば空き家だらけになっている。空き家については、従来相続等を受けた土地は固定資産税や都市計画税が軽減されており、家屋を潰して更地にすることで税金がかかるため、家屋を置いている状況であったが、特定危険空き家として指定されると、固定資産税の軽減が適用されなくなる制度が12月13日に施行された。もし、自分の地域でそういった場所を見つけた場合は、自治会に相談してほしい。

市営住宅にファミリー向けの住戸が少ないという話があったが、確かに単身向けの募集が多くファミリー向けが少ない。この件について議会や委員会で質問した。市営住宅で入居募集を行える部屋数が限られており、デッドストックになっているところが多数あるので、それを活用できないのかというような提案もしているが、若い方が新しいところ、綺麗なところ、環境のいいところに住みたいといった志向が強まってきているのではないかと。そのあたりの整理が1つの課題だと思う。議会も空き家に対して真剣に考えているということを申し上げておく。

(議員)

空き家の一番の問題は使い勝手だと思う。先ほど提案された、学校等の実習で空き家をリフォームする案は空き家を持っている方は喜ぶと思うし、姫路市が材料を提供することが本当にできるのであればすごく理想的である。

空き家を市営住宅にするという意見について、姫路市の市営住宅は、人気があるところは応募が多いが、人気のない、不便なところは応募が少ない。田舎は家を借りる人が少ないが、都会の狭いところで住んでいる人が、田舎で部屋が多数あって家賃が3万円や5万円だったら応募する人がいると思う。姫路市がどこ

までできるか分からないが、高校生の斬新な意見が聞けて本当に良かったと思う。

(委員長)

先ほど議員から固定資産税についての話があったが、不動産を持っているとかかる税金が、家を建てることで5分の1から6分の1くらいになる。空き家を置いているとガラスや物が破損するので、老朽危険空き家になる前に管理不全空き家に認定できないかということなどを検討する空き家対策協議会に私も参加して、市長、弁護士、大学の先生と意見交換をした。

実際に全国的に空き家は大きな問題となっており、空き家をゼロ円で建築会社が購入し、リフォーム後に賃貸物件として貸し出すといったゼロ円物件が大分県や鹿児島県で成功している。私たち議員は、老朽危険空き家や管理不全空き家について考えていたが、すごく明るい意見をいただいたので、活用するといったことは非常に大事なことだと思う。

(高校生)

空き家はまとまった場所にあればいいが、指摘のあったようにスポンジ状だと難しいと思う。いい感じに活用ができればと思う。

(高校生)

空き家問題は一筋縄ではいかないと思う。私は空き家バンクについて資料を見るまで知らなかったの、知らない人が多いのではないかな。もっと周知していくことで空き家対策が進むのではないかな。

(高校生)

空き家はどちらかと言えば田舎に多いと思うが、私を感じる田舎のいいところは、今の時期だと星がすごくきれいなことである。また、近くに人がいる場所で行うキャンプは騒音や煙が問題となるが、スポンジ状になっているとあまり迷惑がかからないのではないかな。

(高校生)

私の地元では、近くの公園に行く途中に空き家が1、2件あるが、空き家を子供の遊び場として整備することで活性化させることができるのではないかな。

(高校生)

空き家を完全に潰してしまうのは少しもったいないと思う。活用や売り出す形で、空き家を利用する方法を議員の皆さんに考えてほしい。

(高校生)

私は明石市に住んでいるが、今も新しい家が増え続けている。新しい家が増えているが、空き家も増えているという議員の話を聞いて、明石市にも空き家バンクがあるのなら、明石市と姫路市が連携できるのではないかなと思った。

(高校生)

私の叔母が陶芸活動をしており、家に古い納屋があるが、立派な一枚板を使っているの、老後は陶芸教室を開いて近所の子どもと楽しくやりたいという話を聞いて、地元の空き家が1つ埋まってよかったと思った。

(高校生)

先ほど議員から話のあった市営住宅について少し調べてみたが、姫路市の市営住宅は団地しかないのかな。市営住宅で、身体の障害者の方が入居するグループホームが少ないということが分かったので、空き家を利用して身体障害者の方が使えるグループホームを建設すれば空き家の削減にもつながるのではないかな。

(高校生)

皆さんの意見を聞いて、空き家の活用方法を考えるのは、実はそんなに難しいことではないと思ったが、活用する方法があっても管理が十分にされていないと木が腐ったりするので、家を空き家にする前に、市に譲渡されるような仕組みづくりを議員に考えてほしい。

(高校生)

空き家をどうするか以前に空き家の基準を決めたほうがいい。

私は田舎が住みやすくなったとしても都会に住みたいと思う。

私が小学生の時に親が転勤する機会があったが、その間家をどうするかといった問題があった。私の家は他人に貸し出して、その間、家賃や光熱費を全部払ってもらっていたが、それが可能であるのも、利便性があることなのかなと思う。

(議員)

グループホームの話があったが、江鮎団地で一部障害者用の県営のグループホームがある。そのようなものを広げていくことも大事だと思う。

(議員)

姫路市の市営住宅は、20棟に1戸は身体障害者向けになっているが、1棟全てというのはまだ姫路市にない。

今のニーズを聞いた上で、今後提案していきたい。
(委員長)

今、田舎の空き家に熊が出る「アーバンベア」が問題になっているが、人がいることで抑止力になるので、そのような問題も考えていかないといけない。

○共通テーマ

・議員や議会の役割

「議員って何している人ですか？」

(高校生)

女性議員や若い議員が少ないと思うが、女性であることや若いことならではのやりづらさはあるか。

(議員)

今回の選挙で初当選した私の同期は11人いるが、そのうち過半数となる6人が女性という革新的な期である。それまでは圧倒的に男性が多かったので、議員は男性のイメージがある。

例えば同期の男性議員と一緒に歩いていても女性の私は秘書と間違われる。悪意はないが、思い込みや偏見で議員イコールおじさんというイメージがある。

年齢に関しては、「若い人が何を言っとるねん」というようなことを言われることもあるが、多少生意気なことを言っても多めに見てくれる議員が多いので、可愛がってもらっている。私自身も政治はおじさんが勝手にやっているというイメージがあって諦めていたが、若い女性が議員になることで、この人は話を聞いてくれそうという親近感を持って話してもらえることが一番うれしく思う。

(高校生)

議員のスケジュールを知りたい。

(議員)

私は議員になったときに、大先輩の議員に午前中は必ず市役所に登庁するように言われていて、それをいまだに守っているので、朝の8時半から12時までには用事があってもなくても市役所に登庁している。昼からは要望を受けたり市の職員と打ち合わせをして定時ぐらいに帰宅している。

(議員)

私もほぼ毎日登庁しているが、地元で自治会活動もしているので、地元に戻れば地元のことをしている。

(議員)

私は35歳で市議会議員になったが、もともとは企業の労働組合からの推薦で立候補した。議員になったときはPTAの役員をしていたので保護者に教育関係の話聞くことができ、政策に結びつけられたことは非常に良かったと思う。それから年を重ねて、現在は介護の問題等ライフスタイルに合わせて同世代の人の声をつなげることができるので、非常にいい役割をさせていただいている。

生活のパターンは、朝8時半に会社に出勤してミーティング等に顔を出してから、9時半ぐらいに登庁している。会社の定時までは議会で仕事をしている。いろいろな議員がいて、それぞれの立場があるが、私のような議員もいる。

(議員)

私は会社を経営しているが、PTAの会長をしたときに通学路の問題等で行政と話し合う機会がきっかけで、50歳のときに夢前町の町議会議員になった。夢前町は姫路市と合併したので、今は姫路市の市議会議員として議員を続けている。

1日のスケジュールは、まず朝7時ごろから会社の伝票の整理をし10時ごろには登庁する。合併した北部の道路関係は、北部地域事務所が担当しているので、昼からはそこに顔を出したり、時には職員とともに現場に行くこともある。皆さんはご存じか分からないが、議会は年に4回定例会がある。定例会中は約30日間毎日10時まで市役所に登庁しているが、招集があればいつでも登庁できるように家でも待機している。

その他の日は自由だが、議長、副議長はいろいろなところに行かないといけないので、朝9時頃には登庁している。正副委員長についても、様々な報告があるので、毎日登庁している。

(議員)

私は公明党の議員だが、公明党には定年があって、先輩が定年を迎える際に推薦を受けて議員に立候補した。

もともと人前で話すことが苦手なので、週3回朝に辻立ちをして議会の動きなどをマイクを使って話している。そうすることで自分の話す練習にもなり、1

人でも議会に関心を持っていただければと思って行っている。そのあとに登庁して、一番最後の職員が帰るまで控室にいる。たまに土日も控室で仕事をしているので、また訪ねていただければと思う。

(議員)

私は会社を経営していて、普段は9時台に登庁して昼まではいる。何もなければ相談等をまとめて解決している。先ほど定例会の話が出たが、定例会中はほぼ毎日9時までに議会に登庁するようにしている。何もなければゆっくりしている。週末は地域の行事等に顔を出すようにしている。

(議員)

地域や企業等の支持母体がいる議員も多いが、私の場合はそのようなものがないので、地域を回って要望をもらうことは少ないが、SNSを活用して議員活動や他の議員へのインタビュー動画を載せることで、少しでも政治家に対して親近感を持ってもらいたいと思っている。

SNSをやってよかったと思うことは、お会いしたことがない方がSNSの投稿をきっかけにDMで相談してくれたことである。これまで相談のなかった方がこの人なら相談してみようと思ってもらえてDMを送ってくれることをうれしく感じている。実際にDMでいただいた内容を本会議で質問をしたこともある。

X(旧ツイッター)で話題になっている問題をリアルタイムで追うことは世代的にもしておく必要があると思っている。議員のスケジュールは議会がないときは自由なので、どう使うかは自分たち次第だと思う。私は意識的にSNSを見るだけではなく、今何が起きていて何が炎上しているのかということを確認している。

(委員長)

私が所属している政党は党勢拡大をするために選挙応援に駆り出されることが多い。

そもそも私は2015年に初当選したが、きっかけは2014年に兵庫県議会の議員が政務活動費を不正使用してカラ出張を繰り返していたことで、政務活動費が注目されており、これを何とかしなければと思った。

スケジュールは午前中に登庁し、報告事項や案件を受けたり、市民からの相談を受けたりしている。午後

は政党の仕事をしている。

市会議員の仕事は様々で、地元密着型で自治会等をしている方、法人から出られている方などがある。

(議員)

将来、地方でも国政でもいいので政治家になりたいと思っている方がいれば話を聞かせてもらいたい。

(高校生)

国政に出たいと考えている。

(議員)

身近に政治家がいたのか。

(高校生)

いない。

(議員)

自分の意志で政治家になりたいと思ったのか。

(高校生)

そのとおりである。

(議員)

素晴らしい。どの政党に入りたいのか。

(高校生)

国民民主党に入りたい。

(議員)

今回若い方にどうすれば選挙に参加してもらえるかを考えてSNSを活用したが、身近な若い世代にさえSNSを見てもらえなかった。どうすれば見てもらえるか。

幼少期に親と一緒に投票所に行っていた人は18歳になれば投票に行くが、最初の1回だけ投票して、次回以降投票しない方が多いと聞く。どうすれば投票に行ってもらえるのか意見を聞きたい。

(高校生)

たかが1票と思っていることが大きな理由だと思う。難しいと思うが、その1票が大事だと理解してもらうことが必要である。そのために、SNSを活用して若い世代に選挙の大事さや自分の投票が選挙につながることを広められたらいいと思う。

(議員)

市議選だと1票が非常に大きい。数票で当落を分けることもある。今回の市議選や県議選も数十票で当落を分けていたので非常に大事だと思う。

(高校生)

高校の文化祭の宣伝でInstagramを活用した。

再生回数は3,000回を超えていたが、実際インスタグラムを見て文化祭に来た人はいなかった。SNSは影響力があるが、どうしても内輪な感じになってしまう。SNSは親近感が沸いただけで終わってしまうことが多いのではないか。

(高校生)

私は投票所に行くと、お菓子が置いてあったらうれしい。そのような方向も考えてもらえればいいと思う。

(高校生)

よく政治と宗教と野球の話は外でするなどと言われる。それが喧嘩の原因になるという理由だが、そのような文化は日本だけで、欧米では喫茶店で友達と政治の話をするのが普通である。政治の話をするのはおかしいという風潮が障壁になっていると思う。国政選挙などの大きな選挙の際に若者を煽り立てるような動画がユーチューブのショート動画等で見られる。私の親は基本的に選挙に行かないが、その動画を見せたら選挙に行っていた。

(議員)

アメリカでは投票に行くとかわいいステッカーを投票所でもらえる。それを貼って自撮りしてSNSに投稿することが流行していたのでみんなが選挙に行っていた。

(委員長)

2025年の大阪・関西万博について、どのように考えているのか。

(高校生)

世間的にイメージは悪そうだが、お金はかけるべきだと思う。

(高校生)

万博はインターネットがなかった時代にいろいろな国が自国の技術を他国に誇示するために開催していたものという認識である。万博の存在意義が失われつつあると思うので、そこをどういうふう考えていくのが大事だと思う。

(高校生)

インターネットが進んでいる現在、万博で最新の技術を披露する意味があまりないのではないかと思う。

(高校生)

万博と言われても、私たちは1回も経験したことがないので分からない。高齢の方であれば昔の万博と今

の万博を比較することができるが、私は人も多いので行く気にならない。

(高校生)

私は日本で開催されるのは一生に一度だと思し、万博で初めて体験できるものがあると思うので行きたいと思うが、最近のニュースを見ていると完成しなさそうなので、期待と不安が半々である。

(高校生)

私も間に合うのかなという気持ちがあるが、結構な費用がかかっている、今さら止めれないのでどうなるのかと思っている。

(高校生)

就職する上で、進路指導室で資料を見て企業を知る機会があるが、万博も企業を知る機会になるので大切だと思う。

(高校生)

私は全然興味がない。最近のニュースで初めて技術を披露する場であることを知った。

(高校生)

水族館にある昔の姫路大博覧会のジオラマやモノレール、回転レストランを小さな頃から見ていて、とてもおもしろそうだと思っていた。大阪・関西万博は日本を活気づけるのにいいと思う。

(高校生)

私も万博のことは全く知らないが、ワクワク感があって行きたいと思う。

(議員)

私が18歳で入社したときの歓迎会が万博で開催された。月の石など誰も見たことがないものがあって、1日で回りきれなかったが面白かった。

意見交換終了

11時30分

副委員長挨拶

11時31分

閉会

11時32分